

## 【TIPC 審査員リスト】

氏名	プロフィール
<p>■スジョン・ソン</p> 	<p><b>Seoul Lunar photo 共同設立者・共同ディレクター／韓国</b></p> <p>ソウルを拠点とするキュレーターでありライター。出版から展示、イベント企画まで写真にまつわる様々なフィールドで活躍している。2014年まで「Daegu Photo Biennale」運営委員に所属し、ポートフォリオレビューのディレクターを務めた。現在は、KT&amp;Gの有力な文化部門サンサンマダンが主催する「Korea Photographer's Fellowship」の実行委員会に所属。放送業界での経験も高く、韓国放送公社 KBS や、英語放送の Arirang TV の番組制作などにも携わっている。</p>
<p>■エリック・ケッセルス</p> 	<p><b>アーティスト、フォトキュレーター／オランダ</b></p> <p>1966年生まれ、アムステルダム在住。「Fotografia Europea」(2015年、レゾエミア)、「Centquatre-Paris」(2014年、パリ)、「Les Rencontres d'Arles」(2014年、アルル)、「ヴィクトリア&amp;アルバート博物館」(2013年、ロンドン)、「Pier 24 Photography」(2014~2015年、サンフランシスコ)、「Images - Festival des Arts Visuels」(2014年、ヴェヴェイ)などにて、数多くの展示を手がける。またアーティスト、フォト・キュレーターとして、自身がコレクションしたイメージを使い様々な書籍を出版。</p>
<p>■サンドラ・S・フィリップス</p> 	<p><b>サンフランシスコ近代美術館写真部門シニアキュレーター／アメリカ</b></p> <p>1987年から同美術館に勤務し、1999年より現職。近代・現代写真の展示を数多く手がけ、高い評価を得ている。主な展示に「Voyeurism, Surveillance and the Camera Since 1870」、ダイアン・アーバスの「Revelations」、ヘレン・レヴィット、ドロシア・ラングの「American Photographs」、森山大道の「Stray Dog」、「Crossing the Frontier: Photographs of the Developing West」、「Police Pictures: The Photograph as Evidence」、セバスチャン・サルガドの「An Uncertain Grace」など。</p>
<p>■アレハンドロ・カステジョーテ</p> 	<p><b>インディペンデントキュレーター、ライター、教授／スペイン</b></p> <p>1985~1996年までスペイン・マドリードのCírculo de Bellas Artesにて写真学部長を務め、1985~1989年に「Festival FOCO」を運営。1998年にマドリードの「PHotoEspaña」を創設し、2000年までアートディレクターも務めた。2015年、Wang Qingsong、François Hebelと共に、第1回「Chang Jiang International Photography &amp; Video Biennale」(中国・重慶市)のチーフキュレーターに就任。現在、ペルーのリマにあるCentro de la ImagenにてLatin American Master of Photography and Visual Artsのディレクターとして活動している。</p>
<p>■アレグラ・コルデロ・ディ・モンテツェモロー</p> 	<p><b>Center for the Image エキシビションコーディネーター、キュレーター／メキシコ</b></p> <p>1985年メキシコシティ生まれ。Cineteca Nacional (ナショナルフィルムセンター)に3年間勤務。マルチメディアを使った展示を通じて、映画のアプローチやあり方を考えるプロジェクト「Sala 7」のキュレーション・計画を行う。その後、Cineteca Nacional内のシネマミュージアムにて、オープニングエキシビションの調整・進行の責任者となる。2013年には、第55回「ヴェネツィア・ビエンナーレ」でのメキシコのパビリオンにおいて、キュレーションのアシスタントに加え演出コーディネーターも務めた。2013年10月より、メキシコシティのCenter for the Imageにて、エキシビションコーディネーター／キュレーターを務めている。</p>
<p>■アズー・ヌワグボグ</p> 	<p><b>African Artists' Foundation 創設者 ディレクター／ナイジェリア</b></p> <p>アフリカの現代アートと芸術家の振興・発展を主な目的とする非営利団体「African Artists' Foundation」(ナイジェリア・ラゴス)の創設者／ディレクター。2007年に同団体を立ち上げ、2008年には「National Art Competition」を開始。年1回開催されるこのアートコンペティションは、ナイジェリアの新進アーティストに作品を披露するプラットフォームとなっている。また国際写真祭である「LagosPhoto Festival」の創設者／ディレクターも務める。アフリカのコンテンポラリーアートを発見、発信するためのバーチャルスペース「Art Base Africa」の創設者でもある。</p>

氏名	プロフィール
<p>■マーク・ピアソン</p> 	<p><b>ZEN FOTO GALLERY オーナー／日本</b></p> <p>イギリス出身。90年代後半より日本に在住。2009年、ZEN FOTO GALLERYを東京・渋谷に設立、2011年六本木に移転。主に日本や中国の写真家を紹介している。TOKYO PHOTOをはじめ、様々なアートフェアに出展。これまでにオリジナルカタログや写真集を40冊以上制作している。また、写真家が自分の作品を電子書籍として販売できるオンラインフォトブックアプリ「shashasha」の開発を手掛けるなど、日本写真の魅力を世界に発信している。</p>
<p>■マーク・プーレスト</p>  <p>© Knut Koivisto</p>	<p><b>写真コンサルタント、キュレーター／オランダ</b></p> <p>1975年生まれ。写真コンサルタント・キュレーター。本の出版や展示の企画、ワークショップ・レクチャーの運営、写真家への作品制作や販売のアドバイスを積極的に行なう。現在は、「Photoreporter Festival」(フランス・サン＝プリュー)のアーティストティックディレクター、「Noorderlicht」(オランダ・フローニンゲン)のアソシエイトキュレーター。</p> <p>2010年9月、プロの報道写真家やドキュメンタリー写真家に向けた1年間のマスタークラスであるNorthern Lights Masterclassを設立。2010～2012年、「ローマ国際写真フェスティバル」に3人のキュレーターの内の1人として参加。</p>
<p>■北島敬三</p> 	<p><b>写真家、photographers' gallery 設立者／日本</b></p> <p>1954年生まれ。WORKSHOP 写真学校の森山大道教室に参加。1976年よりイメージショップCAMPに設立参加。独自の作品発表方法で注目される。1981年日本写真協会新人賞、第8回木村伊兵衛写真賞、第32回伊奈信男賞、第26回東川賞国内作家賞、2010年日本写真協会作家賞、2012さがみはら写真賞を受賞。photographers' galleryを中心に活動している。</p>
<p>■クリスティーヌ・バルト</p>  <p>©Romain Bassenne</p>	<p><b>ケ・ブランリ美術館 キュレーター／フランス</b></p> <p>ケ・ブランリ美術館のキュレーターであり、写真コレクション部門のトップとして古写真・現代写真の収集を担当している。2015年には「Rencontres d'Arles France」(フランス)、「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」(日本)、アルゼンチン・ウシュアエアにて、マルティン・グシンデの展示「L'esprit des hommes de Terre de Feu」のキュレーションをXier Barral氏と共同で行った。2007年よりパリの写真ビエンナーレ「Photoquai」の企画委員に所属し、2007年、2009年、2011年には同フェスティバルで行われた「Iain America」展のアソシエイト・キュレーターを務めた。現代写真に特化した助成金プログラム「Les residences de Photoquai」の選出委員でもある。</p>
<p>■グウェン・リー</p> 	<p><b>シンガポール国際写真フェスティバル ディレクター／シンガポール</b></p> <p>美術館に6年間務めたのち、2008年に友人と共に2902 Galleryを設立。同年、フォト・ビエンナーレ「Singapore International Photography Festival」(SIPF)を開催した。同ビエンナーレは、東南アジアの国際的な写真のプラットフォームにもなっている。同企画は、政府機関Creative Communityより「Creative Talent Grant」を授与。また、日本商工会議所より、シンガポールの芸術団体への貢献が認められ賞を受賞している。</p> <p>2014年には、新たなクリエイティブスペースとしてDECKを創設。写真家のためのプラットフォームやレジデンスプログラムを提供している。DECKは、芸術団体への革新的な影響を評価され、「President's Design Award 2015」(シンガポール)を受賞。2008年以来、シンガポール内外で約45の写真展を企画・キュレーション。</p>